

あなたも狙われている

身近な犯罪の被害者
にならないために

「防犯講話のつどい」開催

2019(令和元)年7月1日

宮沢町自治会会長 藤橋 忠悟

宮沢真珠会会長 宮内 裕

防犯宮沢支部長 関根富士夫

2019.6.14 現在、昭島警察署による管内の身近な犯罪発生状況は下記のとおり。

特殊詐欺 (注)	侵入窃盗	性犯罪	ひったくり	車上ねらい	自転車盗
11 件	13 件	5 件	3 件	14 件	90 件

(注)内訳 オレオレ詐欺3件、架空請求詐欺5件、還付金詐欺1件、その他2件 合計被害金額：1,077万円

上記のデータ中の特殊詐欺11件発生には、それなりの下地があったと思われる。

それは「アポ電」と呼ばれるもの。

市内では今年に入り、12回の集中豪雨的な「アポ電」が発生している（警視庁メール）。

昭島警察に入る1日の「アポ電」の通報数は10～20件といわれている。

***アポ電とは、親族、警察官、金融機関の職員らを装い、資産状況や家族構成などを確かめる不審電話。特殊詐欺を仕掛ける前にかかってくるため、警視庁は「犯行予兆電話」と呼んでいる。**

この数字から類推すると、1回の「アポ電」は未通報分を考慮すると300～600件になる。これはざっくり計算すると「500件の『アポ電』で1件の被害が発生する」計算になる。*昭島市の1件当たり被害額は平均130万円。だから何なの？！

だから、詐欺犯の「アポ電」にはでないようにしましょう。ではどうすれば？

「留守電にしておく」「電話に録音機をつける」等。具体的な内容は、講師のお話を聞きましょう。そして被害を未然に防止する対策を考えましょう。

日時 2019(令和元)年9月28日(土)

15:00時～16:00時

場所 宮沢町公会堂

内容 特殊詐欺のビデオ上映、防犯講話

講師 昭島警察署生活安全課

主催 宮沢町自治会、宮沢真珠会、防犯宮沢支部

後援 昭島警察署 昭島防犯協会